

西部ガスホールディングス 個人投資家向け説明会

2026年8月21日

証券コード：9536

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は様々なリスクや不確実性等の要因により大きく異なることがあります。

西部ガスグループの歩み



安定性

- 西部ガスグループの概要
- 西部ガスグループの変遷
- 数字で見る西部ガスグループ
- 事業エリア、地域とのつながり

事業戦略



成長性

- 中期経営計画「ACT2027」の進捗
- 各事業の成長戦略
 - ・ ガスエネルギー事業
 - ・ グローバルエネルギー事業
 - ・ 電力事業
 - ・ 不動産事業
- 直近の決算状況、当年度の見通し

株主さまとの 「つながり」強化



株主還元

- 企業価値向上の取り組み
 - ・ IR・株主価値創造の取り組み
 - ・ 人的資本経営強化
- 還元方針
- 株主優待制度



西部ガスグループの概要

- **会社名** : 西部ガスホールディングス株式会社
- **設立** : 1930年12月1日
- **所在地** : 福岡県福岡市博多区千代一丁目17番1号
- **経営理念** : 「地域貢献」・「責任」・「和」
- **資本金** : 206億円2,979万円
- **発行済み株式数** : 37,187,567株（自己株式1,138,343株を含む）
- **株主数** : 21,607名（2026年3月末時点）
- **時価総額** : 878億円（2026年7月末時点）

西部ガスグループの歴史

都市ガス原料

主な出来事

お客さま戸数



西部ガス本社(1930年当時)



ガス灯



油ガス第1号機
八千代製造所(1962年当時)



家庭用のガス機器
(ガスコンロ、冷蔵庫など)



ひびきLNG基地



家庭用燃料電池
エネファーム



ひびき発電所
(2026年3月31日運転開始)

使って目指す、脱炭素社会。
Smart Green でんき

環境配慮型でんき
(業務用及び高圧のお客さま向け)

© Saibu Gas Holdings Co., Ltd. ALL Rights Reserved

1930
1960
1990
2020
2030

石炭・コークス
(1930年~)

石油
(1962年~)

天然ガス
(1989年~)

カーボンニュートラル
LNG

- 3,600kcalから4,500kcalへ
ガスの熱量を変更(1964)
- 長崎大水害(1982)
- 天然ガス転換開始(1989~2005)

- 福岡県西方沖地震(2005)
- ひびきLNG基地運用(2014)
- 熊本地震(2016)
- 電力小売全面自由化(2016)
- ガス小売全面自由化(2017)

- ひびき発電所運転開始(2026)
- ひびきLNG基地タンク増設
完成予定(2029)

3
万戸

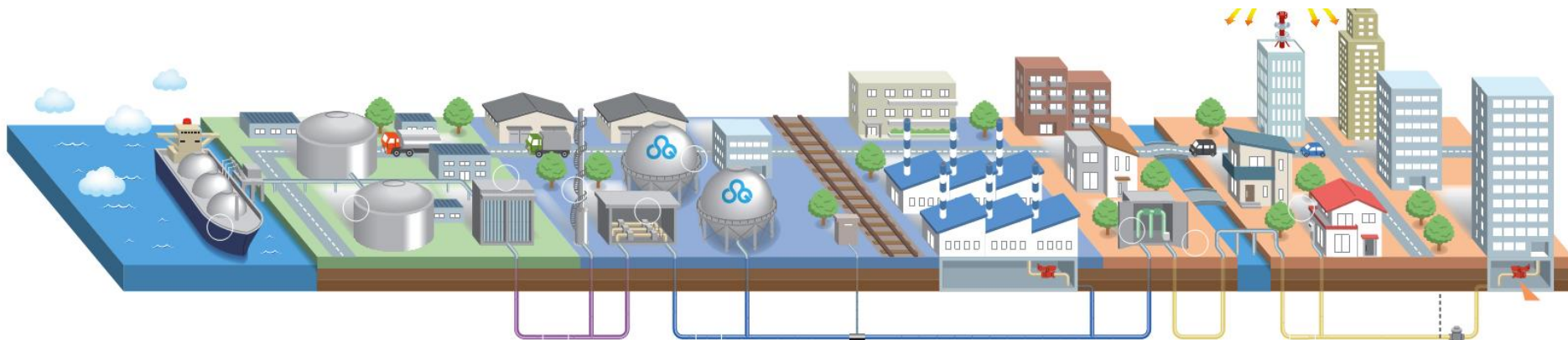
6
万戸

10
万戸

60
万戸

100
万戸

119
万戸



◆ ガスを届ける



◆ ガスを安全・安心に



◆ 多様な事業で暮らしを支える



あなたの毎日を、みまもる。
あなたの万に、かけつける。



みまもりさん & かけつけさん
プラス+



◆ 暮らしを豊かに

西部ガスの



西部ガスの
リフォーム

西部ガスの電気

連結売上高

2,618億円

連結経常利益

125億円

連結総資産

4,658億円

連結従業員数

3,725名

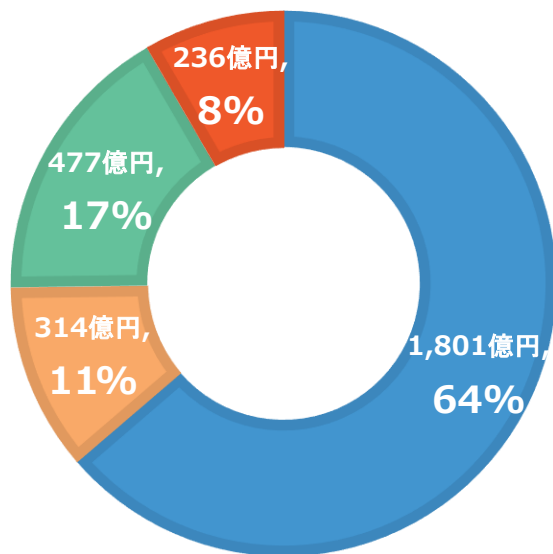
連結子会社数

45社

持分法適用会社

5社

2026年3月期 セグメント別売上構成



■ ガスエネルギー

■ 電力その他エネルギー

■ 不動産

■ 食関連その他

4つの領域

ガスエネルギー



電力その他エネルギー



不動産



食関連その他



ガスエネルギー

主な事業

- ・都市ガス供給・販売
- ・LPGガス供給・販売

小売お客さま件数
都市ガス: **87万4千戸**
LPG: **13万7千戸**

導管埋設距離
約**13,200km**
(地球の直径に相当)
※本支供給管の延長

電力その他エネルギー

主な事業

- ・電力小売
- ・再生可能エネルギー
- ・グローバルエネルギー事業

小売お客さま件数
17万9千戸
電力販売量 **10.4億kWh**

再エネ電源取扱量
10.1万kW

不動産

主な事業

- ・分譲マンション
- ・戸建住宅
- ・賃貸住宅

分譲マンション販売戸数
9,239戸
戸建て販売数 2,524戸 ※累計

賃貸マンション戸数
1,201戸
※保有数

食関連その他

主な事業

- ・飲食店
- ・水耕栽培野菜
- ・高齢者施設運営
- ・水産物卸売

来店者数(飲食店事業)
年間**110万人**

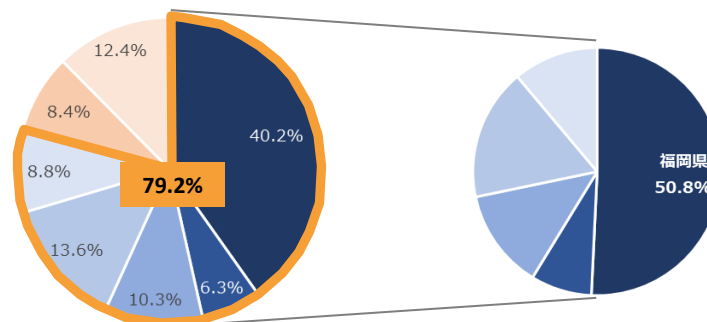
CVC投資額
ファンド総額 **40億円**

- 西部ガスは全国で4番目の都市ガス事業者であり、2030年で設立100周年を迎える予定
- 主な事業エリアである福岡都市圏は継続して人口が増加



- 西部ガスは、全国で4番目の売上規模の都市ガス事業者（全国の都市ガス事業者は約200社）
- 1930年に設立以来、地域の皆さまと共に歩みながら発展
- 2026年3月末のお客さまアカウント数は119万件

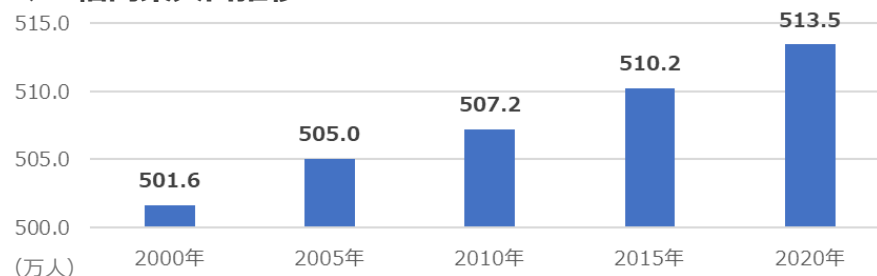
◆ 九州における人口割合



■ 福岡県 ■ 佐賀県 ■ 長崎県 ■ 熊本県 ■ 大分県 ■ 宮崎県 ■ 鹿児島県

◆ 福岡県人口推移

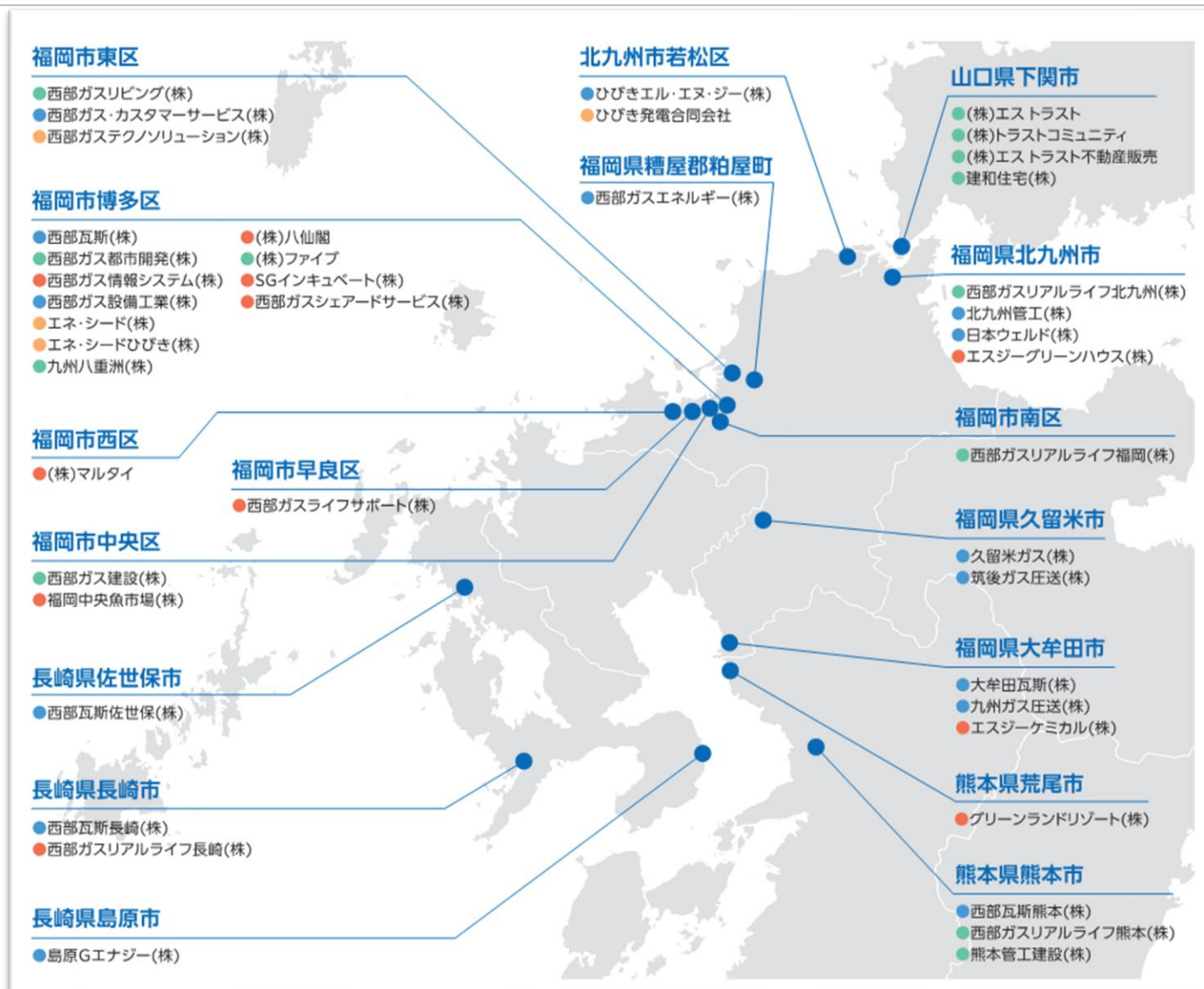
出典：総務省統計局「国勢調査」



出典：総務省統計局「国勢調査」

- 主な事業エリアである北部九州（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県）の人口は九州全体の約79%
- その中でも福岡県は、北部九州の約5割の人口を占め、人口集中が進む福岡市を筆頭に、今後も発展が見込まれ、継続して人口も増加
- 九州は経済活力に富み、都心部における大規模開発や半導体を中心とした産業集積が進むなど、恵まれたマーケット環境がある

- 北部九州（福岡県、熊本県、長崎県）に各グループ会社が拠点を置き、**地域に根差した経営**を推進



- 都市ガスをご利用のお客さまに「安全・安心」にお使いいただけるように、**24時間365日の保安体制を構築**
- 万が一の大規模災害に備え、1983年から防災訓練を毎年実施

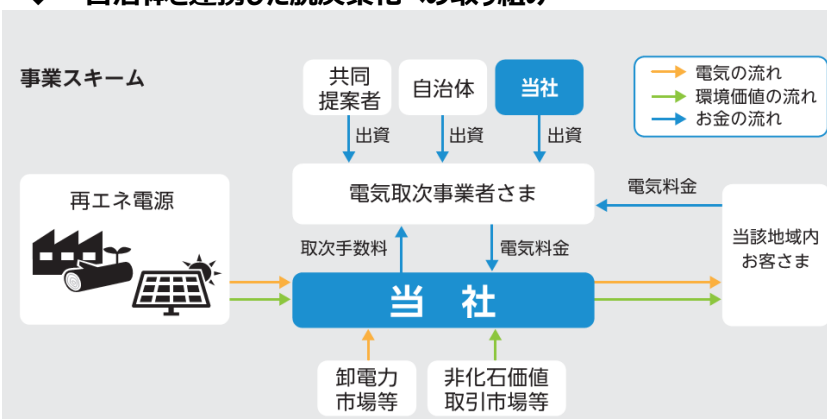


- 当社グループの事業エリアを中心に、**持続可能なまちづくりの実現に向けた連携協定**を締結し、行政と一体となった取り組みを展開

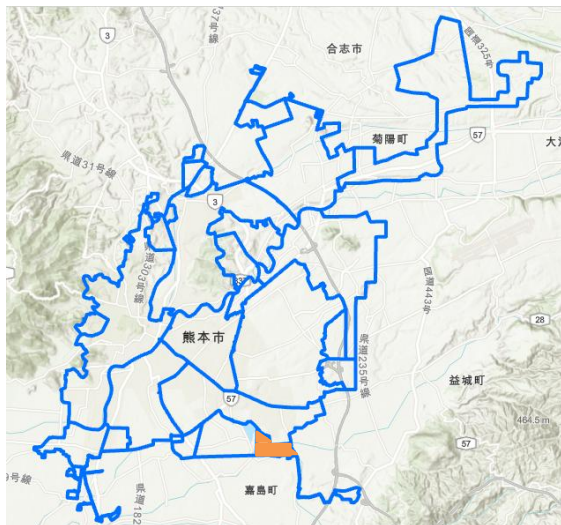
◆ 締結先と主な締結事項

市町村名（一部）	締結名
福岡市	地球温暖化対策に関する連携協定
北九州市	カーボンニュートラル実現に向けた連携協定
長崎市	「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた連携協定
佐世保市	ゼロカーボンシティの実現に向けた官民連携に関する連携協定
熊本県	熊本県内の地域脱炭素に関する連携協定

◆ 自治体と連携した脱炭素化への取り組み



- 2026年7月28日 16時27分に発生した「令和8年熊本地震」に際し、同時刻に災害対策本部を設置
- 同日16時41分に熊本市東区の481戸のお客さまの都市ガス供給を停止し、翌日11時30分に復旧完了



◆ 供給エリアにおける対応（西部ガス熊本 約10万戸）

・ 供給停止戸数

481戸
(同日16時41分停止)

・ 復旧するまでの時間

約1日
(翌日11時30分復旧完了)

・ 復旧までの動員人数

約250名

◆ ガス導管の計画的な取替え

- 地域の防災力の強化を目的に、耐震性を高める取り組みを着実に実施



・ 耐震化率

(2024年度末) **92.8%**

※目標：2030年95%以上

・ 本支管投資額

(5年平均) **約46億円**

※需要獲得投資を含む

◆ 他ガス事業者への復旧支援

- 被災したガス事業者の復旧支援を日本各地の他ガス事業者さまと共に実施

◆ SAIBU LANDを通じた支援プロジェクト

- 無料会員サービス「SAIBU LAND」にて、「令和8年度熊本地震 緊急支援プロジェクト」を実施



中期経営計画「ACT2027」の進捗 (2025～2027年度)

基本方針と財務目標

※1 2022～2024年度合計

ガスと電力を中心とするエネルギー事業の成長を加速するとともに、不動産事業の安定的な収益確保に取り組み、利益を最大化する。また、グループ経営管理の高度化により、資本効率の向上を図る

	達成時期	目標
経常利益	2025～2027年度合計	380億円 (315億円※1)
ROE	2027年度	8.0%程度 (6.0%)
ROIC	2027年度	2.3%程度 (1.8%)
	2030年代前半	3.0%程度
自己資本比率	2027年度	23.0%以上 (22.6%)

括弧内は2024年度見通し

エネルギー事業

ガスエネルギー事業

+14億円

- 営業体制強化やソリューション営業の深化による徹底的なトランジション需要の獲得と、更なる拡大に向けたインフラ基盤整備の推進

電力その他エネルギー事業

+28億円

- ひびき発電所の稼働による電力事業の成長と、カーボンニュートラルに向けた再エネ電源取扱量の拡大
- ひびきLNG基地能力増強を見据えた基地活用事業の推進

2027年度
目標

都市ガス販売量：990百万m³ (924百万m³)
電力販売量：9.0億kWh (6.4億kWh)

括弧内は2024年度見通し

不動産事業

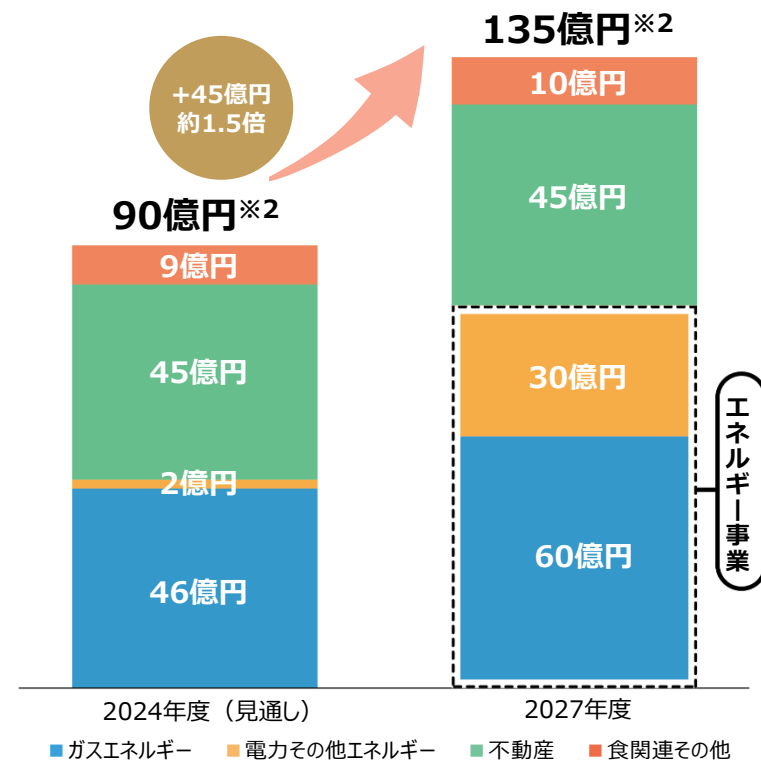
±0億円

- 流動化と継続的な投資による資産効率向上と安定収益の確保

食関連その他事業

+1億円

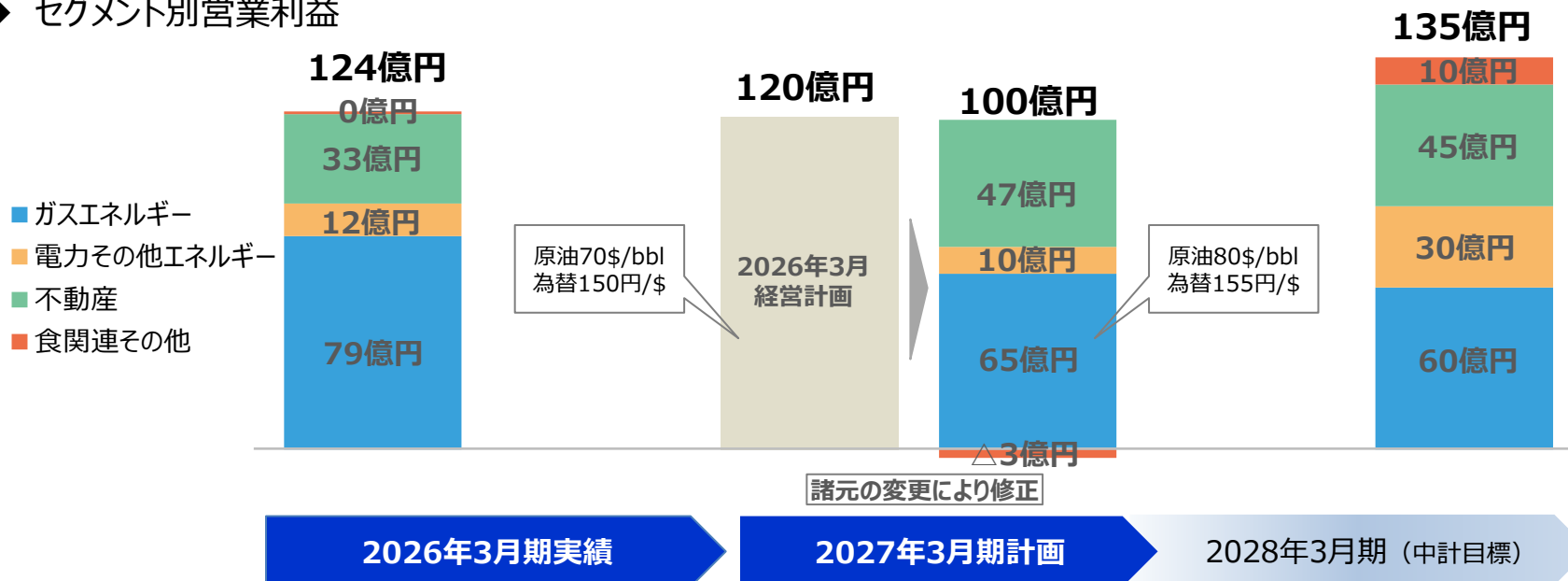
- 既存事業の収益性向上
- 将来の成長の柱となり得る事業の見極めと、M&Aを含む事業拡大へのチャレンジ



※2 営業利益合計値 (調整額を含む)

- 中期経営計画初年度の2026年3月期は、電力販売量の増加等により計画を上回り、順調に推移
- 2028年3月期における**3年間の経常利益合計380億円、ROE8.0%程度、ROIC2.3%程度自己資本比率23.0%以上**の達成に向けて、着実に取り組みを進める

◆ セグメント別営業利益



■ 経常利益	125	120	135 見通し381 > 目標380（3年間累計）
■ ROE	6.5%	6.8%	8.0%
■ ROIC	2.3%	1.9%	2.3%
■ 自己資本比率	24.7%	24.7%	23.0%

- ・ 経常利益の積み増し等により営業キャッシュフローは順調に推移
- ・ 2025、2026年度の2年間で、**中計期間合計の約60%に相当する約870億円の投資・出資**を計画
政策保有株式の売却、株主還元の追加策（自己株式の取得、株主優待）も着実に実行

2026年3月期実績

■ 成長投資

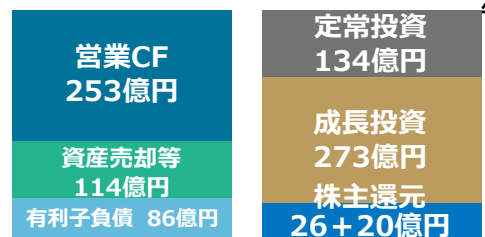
- ひびきLNG基地能力増強
- ひびき発電（貸付）
- 再エネ（蓄電池など）
- DX

■ 株主還元

- 1株当たり70円の配当
- 自己株式取得

■ 資産売却

- 政策保有株式の売却



キャッシュイン

キャッシュアウト

2027年3月期計画

■ 成長投資

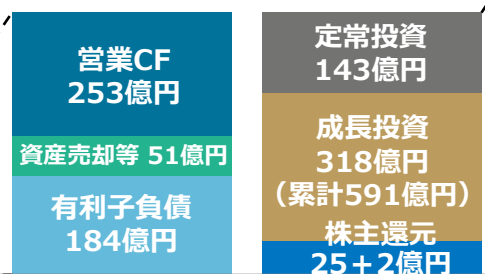
- ひびきLNG基地能力増強
- 箱崎九大跡地開発
- 再エネ（蓄電池など）
- DX

■ 株主還元

- 1株当たり70円の配当
- 株主優待制度

■ 資産売却

- 政策保有株式の売却



キャッシュイン

キャッシュアウト

ACT2027

(2026.3期～2028.3期)



キャッシュイン

キャッシュアウト



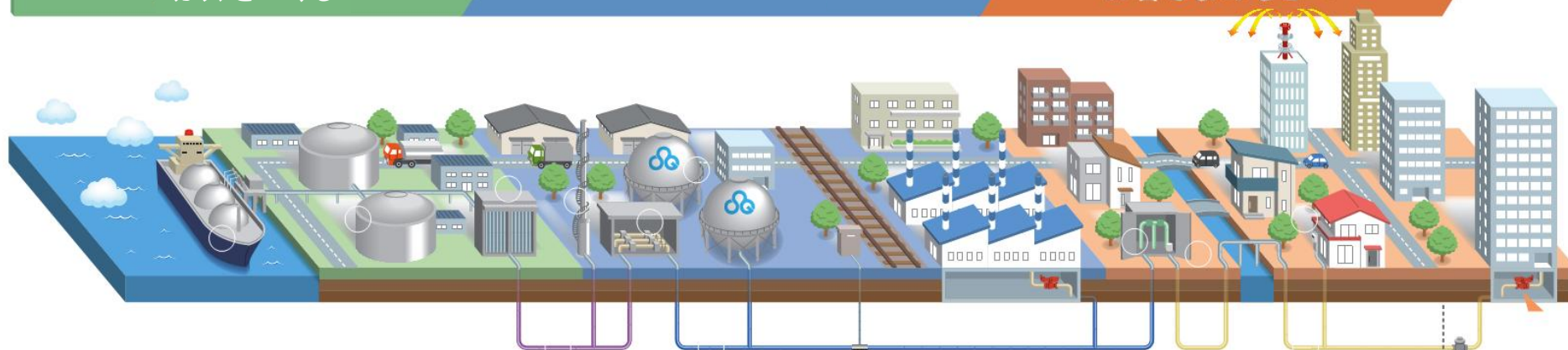
各事業の成長戦略

国内ガス事業

ガスをつくる

ガスをおくる

お客さまのもとへ



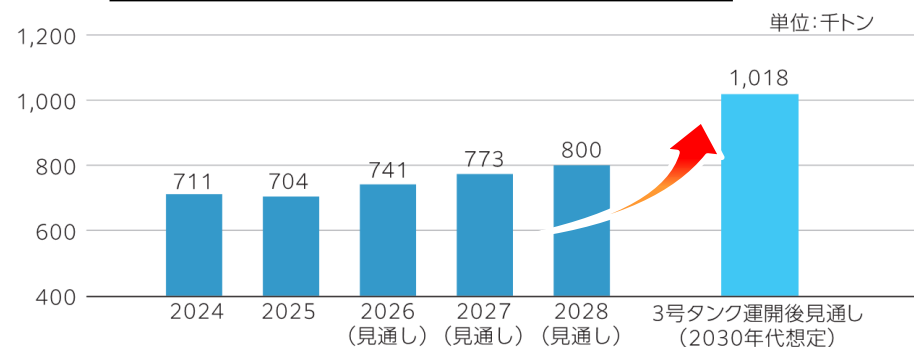
◆ ガスが支える暮らしと産業

お客さま分類	主な使用内容
一般家庭	厨房、給湯・暖房、発電等
工場、病院、商業施設、オフィスビル、飲食店等	厨房、給湯、蒸気、空調（冷暖房）、発電、熱等
都市ガス事業者	他の都市ガス事業者を通じて、家庭・飲食店・病院・工場などへ供給

- 天然ガスはご家庭だけでなく、工場や病院、商業施設、オフィスビルなど、地域の産業や社会インフラを支える様々な場面で利用される

◆ 目標とするガス販売量

都市ガス及びLNG販売量の推移（海外出荷除く）



- カーボンニュートラルの潮流加速を追い風とした天然ガス需要獲得を進める

ひびきLNG基地能力増強

■ 目的

- カーボンニュートラルを背景とした国内の天然ガス需要への対応
- 安定供給の更なる向上
- グローバルエネルギー事業の推進（基地活用事業）
- 将来的な都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた備え

■ 概況

事業会社	西部ガス(株)
総事業費	約500億円
着工時期	2025年夏（本工事）
運開予定	2029年度上期

■ 増強後の設備（概要） 括弧内は現状からの増強分

LNGタンク	18万kl x 2基、23万kl x 1基（+23万kl x 1基）
ガス製造設備	LNG気化器6基（+1基）、BOG圧縮機4基（+2基）、他
ローリー出荷設備	18レーン（+6レーン）



■ 豊富な天然ガス需要と当社グループのアクション

ガス/LNG潜在需要量
30~40万トン

※ 現在の天然ガス取扱量 約80万トン

石油・石炭からの燃料転換や
半導体産業などの
新たな需要獲得

ひびきLNG基地

増加が見込まれる
アジア圏内のLNG輸送量
約2.5億トン（2024年）
⇒約5億トン（2040年）

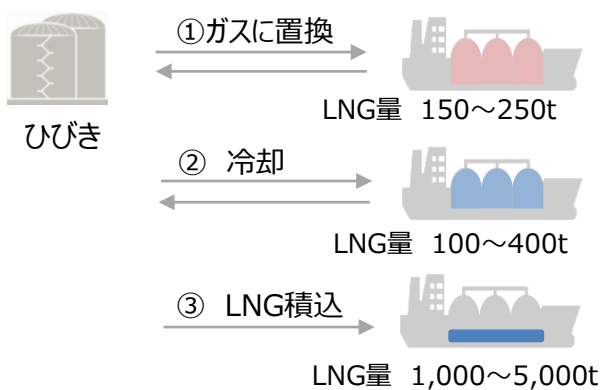
ひびきLNG基地の
地理的優位性などを
活かしたビジネス展開

- ・ガッシングアップ/クールダウン
- ・LNG再出荷
- ・ISOタンクコンテナ出荷
- ・LNGバンカリング

グローバルエネルギー事業

- 東アジア諸国に近いひびき**LNG基地の立地を活かし**、アジア諸国の低・脱炭素化に伴うLNG需要の拡大を取り込むなど、**基地を活用したLNG船による再出荷などのビジネスを展開**

GUCD（ガッシングアップ/クールダウン）の流れ



LNG船再出荷



Truck to Ship方式による
LNGバンカリング



ISOタンクコンテナによる
LNGバンカリング



ISOタンクコンテナ

グローバルエネルギー事業

<基本方針>

ひびきLNG基地3号タンクを最大限に活用した事業拡大を推進するとともに、新たな挑戦分野として海外ガス中下流事業および海外LNG販売事業に取り組む

<4つの重点取り組み>

①ひびきLNG基地を活用した事業の拡大

積替・ISOコンテナ等3号タンクを活用した事業の最大化

(新たな挑戦分野)

②海外ガス中下流事業※への出資参画

LNG需要獲得を目的に、当社の強みが活かせるガス中下流事業へ出資参画

※…中流：LNG輸送 下流：海外LNG受入基地～最終需要家迄の供給

(新たな挑戦分野)

③海外LNG販売事業への展開

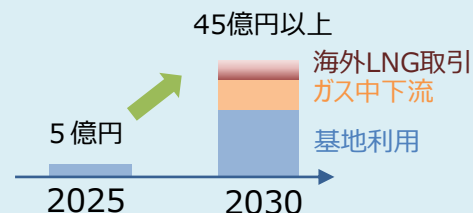
ガス下流事業参画で獲得した需要向けにLNGを調達・販売・トレーディングの推進

④専門人財と海外拠点の強化

専門性の高い人財を育成・配置し、海外拠点の複数展開によるフロントライン強化により事業を拡大する

<主要KPI>

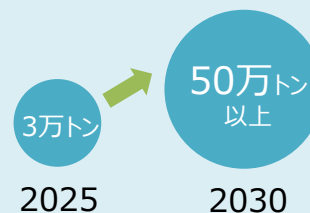
①利益目標（粗利ベース）



③海外投資規模

100億円規模
(2030)

②LNG取扱量（基地利用事業）



④体制

グローバル対応組織
15～20名
(～2030)

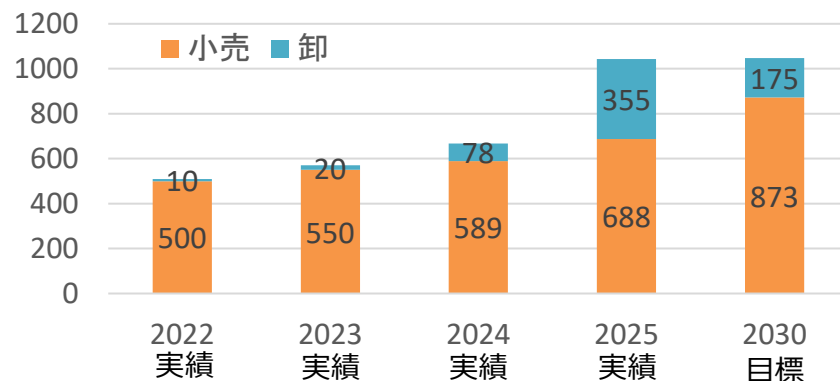
【JERA社】

3号タンクを含むひびきLNG基地の戦略的活用提携を合意

電力小売・卸売

◆ 電力販売の拡大

(百万kWh) 電力販売量の推移



- 電力契約容量の高いお客さま比率の向上およびストック件数の拡大
- 環境意識の高いお客さまへの「Smart Greenでんき」 拡販
- 卸販売候補先との接点強化による卸販売拡大

◆ 当社初の自社電源である ひびき発電所の営業運転開始 (2026年3月)

ひびき発電所の外観



- 発電容量62万kWの最新鋭「LNGコンバインドサイクル発電所」を共同開発
- 電源の低炭素化に貢献するとともに、安価・安定的な自社電源を生かし、電力販売の収益を向上

まとめてカンタン！おすすめのガス+電気セット



・ 小売お客さま件数

2024年度
16万6千件

2025年度
17万9千件

・ 供給エリア

福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県

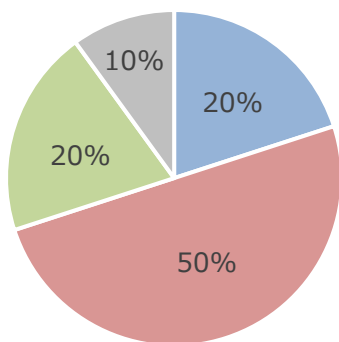
※但し、一部離島は除く

不動産事業

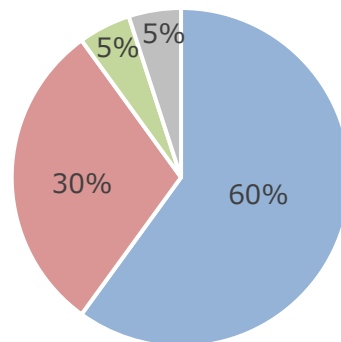
セグメントを構成する事業の内訳（2027年度における目安）

売上高の内訳

■ 賃貸 ■ 分譲 ■ 建設 ■ その他（管理、海外など）



利益の内訳



(株)エス トラストの分譲マンション

[「オーヴィジョン」シリーズ](#)



九州八重洲(株)の戸建住宅

[「ジョイナス」シリーズ](#)

◆ 九州大学箱崎キャンパス跡地地区におけるまちづくり土地利用事業者に正式決定（2026年3月）

- 企業グループ8社にて、2028年度のまちびらきを目指す日本最大級のスマートシティを開発
- 当社グループは、エネルギー供給や住宅開発に加え、カーボンニュートラルやエネルギーサービス、緑化推進などでの関与を予定

西部ガスグループの取り組み

環境先進都市として世界を牽引する未来のまちづくり	・ 分譲マンション(約2,000戸※)・賃貸住宅・寮・オフィス・商業施設・病院・学校等の開発 ※PJ全体の戸数
住宅・建築物のカーボンニュートラルを実現	・ すべての住宅・建築物のZEH・ZEB化 ・ 水素パイプラインを活用した純水素燃料電池の実証 など
まち全体で緑化	・ 樹木10,000本以上の樹木による緑化維持

▼ イメージパース



食関連その他事業

✓ 八仙閣

地元福岡に根差し、地元と共に歩み、長年愛される伝統と革新の
本格中華料理を提供



✓ スタートアップ企業への投資・支援

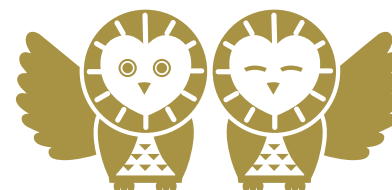
SGインキュベートでは、当社グループに関連する企業だけでなく、未来
のイノベーションを起こす企業への投資も積極的に実施



✓ タウンセキュリティ事業

西部ガスリビングでは、安全・安心なまちづくりに貢献し、高齢者が
抱える住まいや暮らしの課題解決に役立つサービスを展開

あなたの毎日を、みまもる。
あなたの万が一に、かけつける。



みまもりさん & かけつけさん
プラス+

高齢者見守りサービス

✓ 暮らしに関わる幅広い事業展開を通じて、活力ある地域経済と地
域のお客さまの豊かな生活をサポート

主な会社名	主な事業
八仙閣	飲食店
西部ガスライフサポート	介護施設
西部ガス情報システム	情報システム
エスジーグリーンハウス	水耕栽培レタスの生産・販売
エスジーケミカル	炭素材
福岡中央魚市場	水産物等の卸売業
SGインキュベート	CVCの運用及び管理



2027年3月期第1四半期決算の状況



- 売上高は、不動産事業において分譲マンションの販売戸数が減少したことや、ガス事業において原料費調整によるガス料金単価の下方調整の影響等により、10.2%減の 60,642百万円
- 営業利益は、不動産事業やガス事業の売上高が減少したこと等により、26.0%減の 4,050百万円
- 経常利益は、受取配当金が増加したこと等により、18.3%増の 6,783百万円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、45.9%増の 5,156百万円

項 目	単位	当四半期 (2026.4～2026.6)	前四半期 (2025.4～2025.6)	対前年同期	
				増 減	増減率(%)
売上高	百万円	60,642	67,549	▲ 6,907	▲ 10.2
営業利益	百万円	4,050	5,477	▲ 1,426	▲ 26.0
経常利益	百万円	6,783	5,733	1,049	18.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	百万円	5,156	3,533	1,623	45.9

<参考>

補正項目：スライドタイムラグ	百万円	▲ 1,245	1,489	▲ 2,734	▲ 183.6
補正後 営業利益	百万円	5,295	3,988	1,307	32.8

項 目	単位	当四半期末 (2026.6)	前四半期末 (2025.6)	対前年同期	
				増 減	増減率(%)
ROE	%	4.3	3.4	0.9	26.5

項 目	単位	当四半期末 (2026.6)	前期末 (2026.3)	対前期末	
				増 減	増減率(%)
自己資本比率	%	26.6	24.7	1.9	7.7

- ・ 前回（2026年4月28日）公表した業績見通しから変更なし
- ・ 経常利益ベースは減収減益、親会社株主に帰属する当期純利益ベースは減収増益の見込み

◆ 業績見通し

(単位：億円)

項 目	2027年3月期 見通し (2026.4～2027.3)	2026年3月期 実績 (2025.4～2026.3)	増 減	増減率(%)
売上高	2,530	2,618	▲ 88	▲ 3.4
営業利益	100	124	▲ 24	▲ 19.8
ガス・L P G	65	79	▲ 14	▲ 17.7
電力・その他エネルギー	10	12	▲ 2	▲ 17.0
不動産	46	33	13	40.2
その他	▲ 2	0	▲ 3	▲ 541.7
調整額	▲ 19	▲ 0	▲ 18	—
経常利益	120	125	▲ 5	▲ 4.6
親会社株主に帰属する当期純利益	80	71	8	11.9

※2027年3月期 業績見通しの前提：原油価格 80ドル／bbl、為替レート 155円／ドル

◆ 配当金

期末配当は、1株につき35円を予定しています。通期では、中間配当として実施した35円を加え、1株につき70円の配当となる予定です。

次期の配当につきましては、中間配当を含め1株につき70円の配当を予定しています。



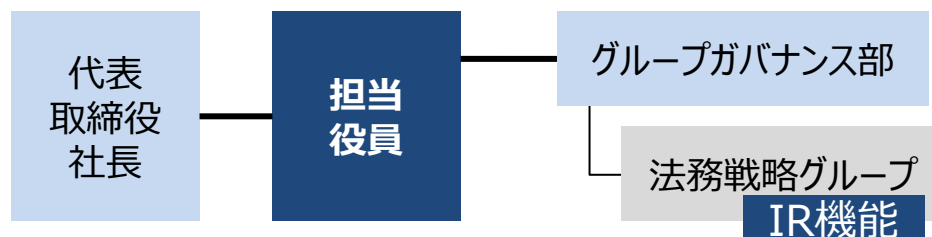
企業価値向上の取り組み

- 投資家との対話の更なる推進（開示内容充実・IR活動強化）のため、2026年度より体制を強化

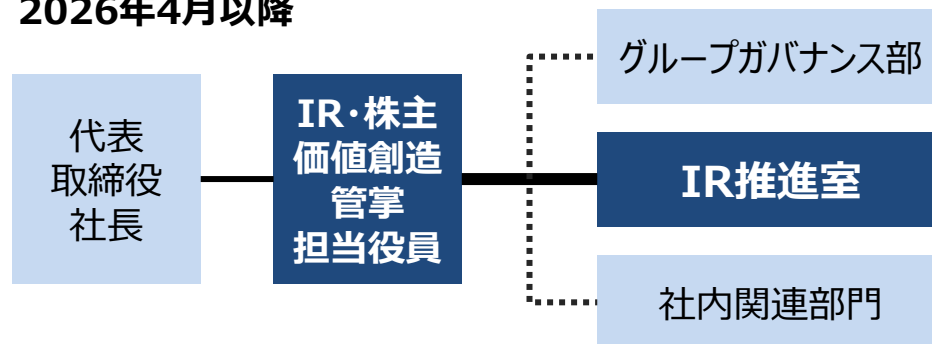
◆ 体制の強化

- 「IR・株主価値創造管掌」役員を設け、社内横断的な連携と取り組みの推進を明確化
- 「IR推進室」を新設し、IR活動とESG情報開示をより専門的に推進

2026年3月まで



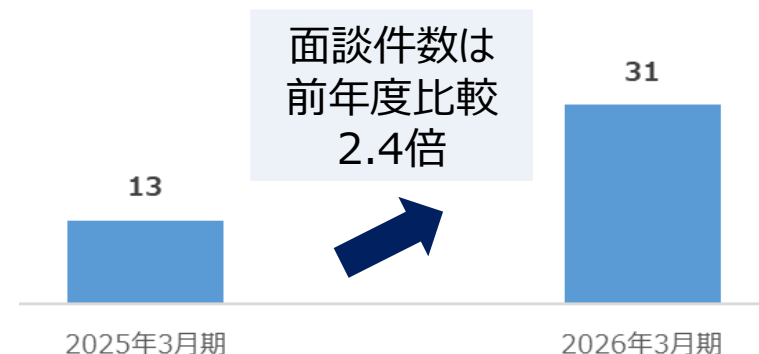
2026年4月以降



◆ 個人投資家のみなさまからの認知度向上

主な取り組み	
2025年度実績	- 個人投資家向け説明会（6回） - 株主ミーティング
2026年度計画	- 個人投資家向け説明会（8月、12月他） - 個人投資家向け雑誌掲載（7月） - 投資系インフルエンサー対談 - 関東圏テレビ出演予定

◆ 機関投資家・アナリストとの面談件数



- 市場要請に対応したサステナビリティ・ガバナンス強化の取り組みを着実に推進
- 2026年3月期は自己株式取得と株主優待新設により、株主還元を強化

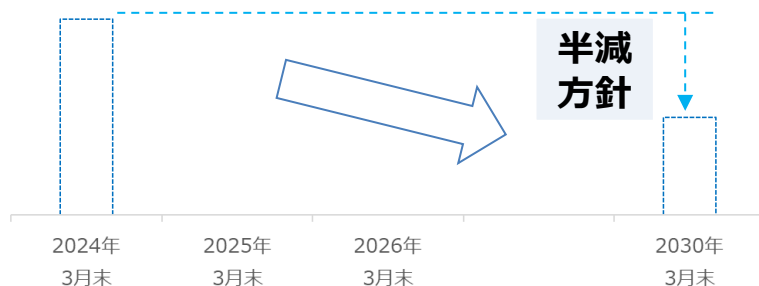
◆ サステナビリティ・ガバナンス強化の取り組み

- 統合報告書の2025年度発行開始等、様々なステークホルダーとの対話活動を強化
- 取締役会のダイバーシティを推進

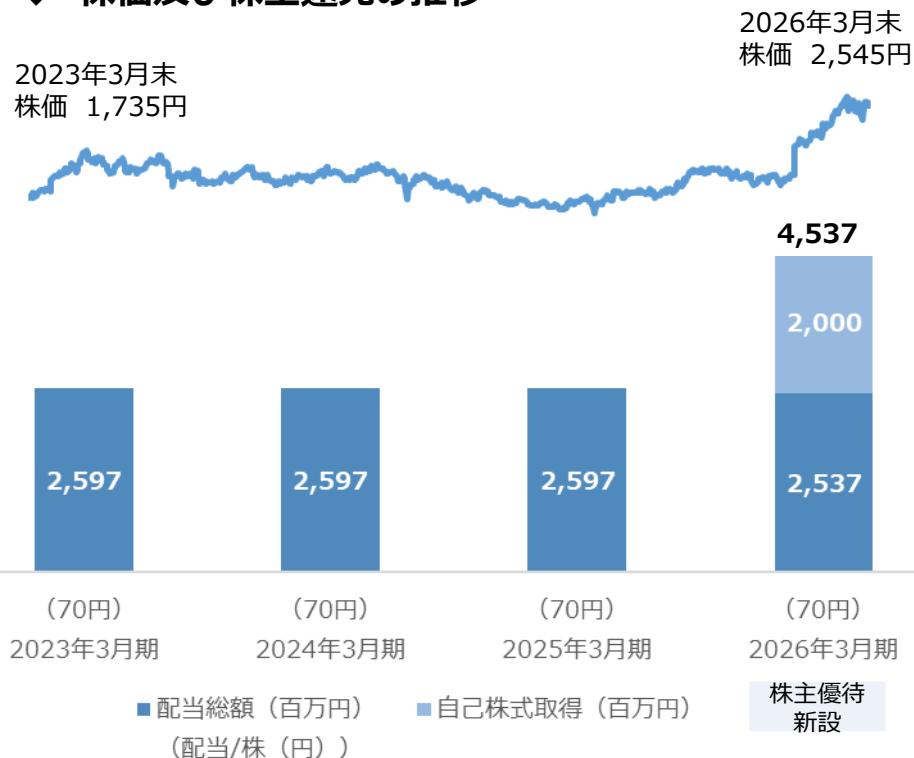
2026年6月定時株主総会終了後
女性取締役 1名→2名

◆ 政策保有株式

- グループ中期経営計画で掲げた5年で政策保有株式を半減（2024年3月末比）の方針に従い、計画的売却を実行



◆ 株価及び株主還元の推移



株主還元方針：1株当たり70円の配当を下限とした持続的・安定的な株主還元と、中長期の会社業績などを総合的に勘案しながら、自社株買いなどの追加還元策を機動的に実施

- グループ人財戦略基本方針や西部ガス㈱の人事制度改定方針などを取り纏めた「**人的資本レポート**」を発行
- 人財戦略の**最重要指標として従業員エンゲージメント調査を開始**。グループ人財交流の強化や公募制度の導入などにより、経営戦略と各社・個人の思いを人財配置に反映

人的資本レポートの発行

- 目的
従業員・企業・地域社会が共に成長していくことを目的に、社内外の対話を生み出す起点として発行
- ポイント
 - ・人的資本への戦略的な投資
経営戦略と連動した人財育成、挑戦支援、組織基盤の強化に向けた取り組みを推進
 - ・人的資本アウトカム（従業員の成長）
投資結果を、独自指標である「挑戦指数」や、「エンゲージメントスコア」の向上などで定義
 - ・価値創造プロセス
人的資本投資から企業価値向上への道筋を人的資本インパクトパスとして可視化



従業員エンゲージメント

グループ共通のエンゲージメント調査を開始し、エンゲージメントスコアをKGIとして継続的にモニタリング

2025年度実績
63.6

2027年度目標
65.0

- グループ人的資本委員会
グループ各社の社長を委員とし、経営トップ自らがコミットして戦略を議論・決定する体制を構築することで、グループ全体で推進力を担保

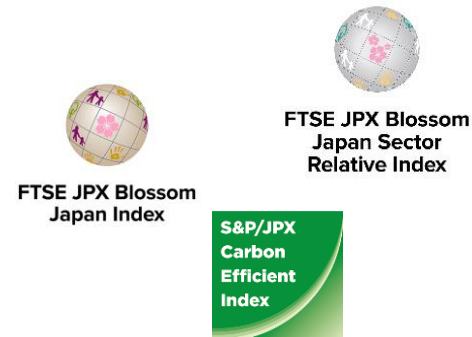
グループ人財戦略

- グループ人財交流
経営戦略等を踏まえた重要分野へ、グループ全体で要員をシフト
- 人財配置
自己申告制度やグループ人財公募、グループ人財バンク、育児・介護による勤務地選択などにより、各社・個人の思いを人財配置に反映



◆ 主なESG評価

FTSE JPX Blossom Japan Index	2023年～4年連続
FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index	2023年～4年連続
S&P/JPX カーボンエフィシエント指数	2018年～8年連続



◆ 外部評価・格付け・受賞

CDP	B
経済産業省「健康経営優良法人2026」ホワイト500	2026年初（※1、※2）
厚生労働省「えるぼし」取得	2020年★★★ 西部ガス 2023年★★ 西部ガス情報システム
厚生労働省「くるみん」取得	2020年
環境省「自然共生サイト」西部ガスグループ油山研修所の森認定	2025年
GOOD CAREER COMPANY AWARD イノベーション賞	2022年 西部ガス絆結



「省エネコミュニケーション・ランキング制度」都市ガス部門	令和5年度～3年連続★★★★★満点（※2）
「省エネコミュニケーション・ランキング制度」電気部門	令和7年度初★★★★★満点（西部ガス）
日本ガス協会「技術大賞」中圧PE管防護材	2024年度 西部ガス※3
日本ガス協会「技術大賞」ガス導管内露点・圧力遠隔管理システム	2023年度 西部ガス※4



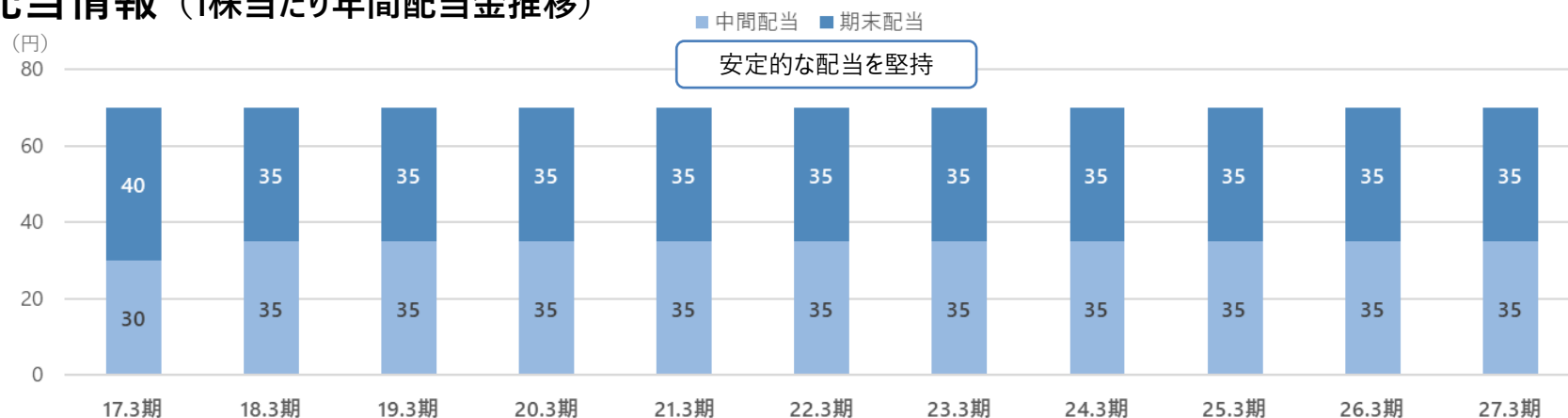


株主還元方針、株主優待制度

◆ 株主還元方針

- 1株当たり配当金70円の配当を下限とし、持続的・安定的な還元を実施
- 将来の成長に必要な投資や経営基盤の強化に必要な資金を確保したうえで、中長期の会社業績などを総合的に勘案しながら、自社株買いなどの追加還元策を機動的に実施

◆ 配当情報（1株当たり年間配当金推移）



配当性向	75.3%	43.8%	47.3%	55.2%	144.4%	523.6%	19.6%	42.1%	40.7%	35.7%	約35%
総還元性向	75.3%	43.8%	47.3%	55.2%	144.4%	523.6%	19.6%	42.1%	40.7%	64.8%	約35%

◆ 追加還元

- 自己株式取得価額の総額 約20億円
(2025年度)
- 株主優待制度の導入 (2026年度より)

総合利回り **5.5 %!**

※配当利回り3.0% + 優待利回り2.5%
(2026年7月31日時点)

- 中期経営計画における株主還元方針に基づく**追加還元策**として、**当社グループの魅力な商品やAmazonギフトカード、他社ポイント等との合算可能なWILLsCoin**を含むプレミアム優待倶楽部の商品に交換できる株主優待制度を導入

◆ 対象となる株式数および内容

保有株式数	株主優待ポイント数 (9月末日)	株主優待ポイント数 (3月末日)
200株～399株	6,000ポイント	6,000ポイント
400株以上	12,000ポイント	12,000ポイント

進呈時期：5月頃および11月頃

西部ガスホールディングス・ プレミアム優待倶楽部



◆ 優待商品（一部）

西部ガスグループオリジナル商品

- 中華料理 八仙閣
おススメセット 4種計5食



- 福岡中央魚市場
無着色明太子500g



- エスジーグリーンハウス
うるおい野菜 4種6パック



- Amazonギフトカード
3,000円分
6,000円分
12,000円分

※Amazonギフトカードに関する問合せは、Amazonではお受けしておりません。西部ガスホールディングス・プレミアム優待倶楽部ヘルプデスク[0120-980-965]までお願いいたします。
※Amazon、Amazon.co.jpおよびこれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。



◆ WILLsCoin

- 当社で獲得したポイントと他社で獲得したポイントを合算し、よりグレードの高い商品との交換も可能です。

詳しい優待情報はこちら→



西部ガスグループの歩み



安定性

- 西部ガスグループの概要
- 西部ガスグループの変遷
- 数字で見る西部ガスグループ
- 事業エリア、地域とのつながり

事業戦略



成長性

- 中期経営計画「ACT2027」の進捗
- 各事業の成長戦略
 - ・ ガスエネルギー事業
 - ・ グローバルエネルギー事業
 - ・ 電力事業
 - ・ 不動産事業
- 直近の決算状況、当年度の見通し

株主さまとの 「つながり」強化



株主還元

- 企業価値向上の取り組み
 - ・ IR・株主価値創造の取り組み
 - ・ 人的資本経営強化
- 還元方針
- 株主優待制度

◆ 株主さま向け施設見学会

「ひびきLNG基地見学会」



◆ 株主さまと当社役員との対話イベント

「株主懇談会」株主総会終了直後に実施



「株主ミーティング」 当社役員による事業説明と茶話会を実施



西部ガスグループ
について

事業内容

株主・投資家の
皆さま

サステナビリティ

採用情報

プレスリリース

[ホーム](#) > 株主・投資家の皆さま

株主・投資家の皆さま

IR関連情報 >

- > 決算短信
- > 有価証券報告書
- > 決算説明会資料
- > 統合報告書
- > IRカレンダー
- > 株主さま向けIRメール配信



ご登録はこちら

- 当社のプレスリリースをメールにてお知らせ
- 運用見直しによって内容の充実を図る



西部ガスホールディングス

＜お問い合わせ先＞

西部ガスホールディングス株式会社

グループガバナンス部 IR推進室

電話 (092) 633-2795

Email sgg_ir@saibugas-group.com

URL <https://hd.saibugas.co.jp/ir/>

エネルギーを解放て。

西部ガスグループの真のエネルギーは、人だ。

失敗を恐れる必要はない。さあ、挑戦しよう。お客さまの新たな喜びを、開拓しに行こう。

 **西部ガスグループ**